

| 授業科目区分 | 授業科目名 | 授業方法 | 単位 | 時間 | 関連の深い授業科目 | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---|-------------------|----|-------------|------|----------|-----------------|------|----|--------------------|-----|----|--------------------------------------|------|-----|--|
| 専門基礎 | 解剖学1 | 講義 | 4 | 80 | 解剖学2.運動学1.2 | | | | | | | | | | | | |
| 学科・学年 | 担当教員名 | 科目関連 実務経歴 | 実務経歴・分野・授業科目との関連等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 柔道整復学科 1年 | 錦織輝礼 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>運動器の概説(運動器を構成する細胞・組織)を理解する。 また、解剖学の内、運動器系の構造の理解を目的とする。(骨・筋の名称、部位名、作用等) 骨部位は、脊柱、寛骨～足部、頭蓋骨について名称、特徴を踏まえ立体的に考えることが出来る力をつける。</p> <p>運動器の構造を起始・停止を画像として覚えることにより、その機能をもイメージできるようになるため、基礎知識を身に付ける。</p> <p style="text-align: center;">この授業の概要、助言、学習支援の方法 など</p> <p>授業毎に、前回の授業内容の習得が出来ているか確認するため小テストを行う。 そのための、授業の復習をすることを強く推奨する。</p> <p>また、この分野は学習量が多い為、日々の継続学習と復習が重要となる。</p> <p style="text-align: center;">教科書・参考書</p> <p style="text-align: center;">解剖学 第2版 (社)全国柔道整復学校協会 医歯薬出版 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 医学書院 プロメテウス解剖学アトラス 頸部／胸部／腹部・骨盤部 医学書院</p> <p style="text-align: center;">受講時留意点、その他</p> <p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●礼節を重んじ「授業前の準備」「授業開始・終了時のあいさつ」「教室使用後の清掃」を確実にを行うようにして下さい。 ●骨模型を授業で使用することがあるため、当番は準備の有無を担当教員に確認するようにして下さい。 ●やむを得ない理由以外での欠席においてプリントの再配布はおこないません。</p> <p style="text-align: center;">成績評価方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評価方法</th> <th>評価割合 (%)</th> <th>具体的な評価の方法、観点 など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>80</td> <td>定期試験(前期・後期)行い評価する。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20</td> <td>授業毎に小テストを行い評価する。また、授業態度、出席も評価の対象とする。</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 評価方法 | 評価割合 (%) | 具体的な評価の方法、観点 など | 定期試験 | 80 | 定期試験(前期・後期)行い評価する。 | その他 | 20 | 授業毎に小テストを行い評価する。また、授業態度、出席も評価の対象とする。 | (合計) | 100 | |
| 評価方法 | 評価割合 (%) | 具体的な評価の方法、観点 など | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定期試験 | 80 | 定期試験(前期・後期)行い評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 20 | 授業毎に小テストを行い評価する。また、授業態度、出席も評価の対象とする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (合計) | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 回数 | 開講 予定日 | テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料 | 授業日誌 | 開講日 | 担当教員 (備考) |
|----|-----------|--|------|-----|--------------|
| 1 | | オリエンテーション 運動器の概説 | | / | 錦織 |
| 2 | | 運動器の概説 器官系の種類を覚える。 人体の区分を覚える。 骨の連結・関節について名称と形態 を覚える。 | | / | 錦織 |
| 3 | | 運動器(骨格系) 脊柱の構成を覚える。 脊柱(頸椎)の骨部位を覚え特徴を 理解する。 | | / | 錦織 |
| 4 | | 運動器(骨格系) 脊柱(胸椎)の骨部位を覚え特徴を 理解する。 | | / | 錦織 |
| 5 | | 運動器(骨格系) 脊柱(腰椎)の骨部位を覚え特徴を 理解する。 | | / | 錦織 |
| 6 | | 運動器(骨格系) 脊柱(仙骨・尾骨)の骨部位を覚え特 徴を理解する。 | | / | 錦織 |
| 7 | | 運動器(骨格系) 胸郭の構成骨を覚える。 胸郭(胸骨)の骨部位を覚え特徴を 理解する。 | | / | 錦織 |
| 8 | | 運動器(骨格系) 胸郭(肋骨)の骨部位を覚え特徴を 理解する。 | | / | 錦織 |
| 9 | | 運動器(骨格系) 骨盤① 寛骨全体の理解(見方・骨の向き) 腸骨・恥骨・坐骨の骨部位を覚え特 徴を理解する。 | | / | 錦織 |
| 10 | | 運動器(骨格系) 骨盤② 寛骨全体の理解(見方・骨の向き) 腸骨・恥骨・坐骨の骨部位を覚え特 徴を理解する。 | | / | 錦織 |

| 回数 | 開講 予定日 | テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料 | 授業日誌 | 開講日 | 担当教員 (備考) |
|------|-----------|---|------|-----|--------------|
| 11 | | 運動器(骨格系) 大腿骨、膝蓋骨の骨部位を覚え特徴 を理解する。 | | / | 錦織 |
| 12 | | 運動器(骨格系) 脛骨・腓骨の骨部位を覚え特徴を理 解する。 | | / | 錦織 |
| 13 | | 運動器(骨格系) 足根骨・中足骨・足趾骨の骨部位を覚 え特徴を理解する。 | | / | 錦織 |
| 14 | | 運動器(骨格系) 頭蓋骨(脳頭蓋①)の構成骨を覚え、 各頭蓋骨の骨部位、特徴を理解する。 縫合の種類・構成骨 | | / | 錦織 |
| 15 | | 運動器(骨格系) 頭蓋骨(脳頭蓋②) 脳頭蓋を構成する骨の骨部位を覚 え特徴を理解する。 | | / | 錦織 |
| 16 | | 運動器(骨格系) 頭蓋骨(脳頭蓋③) 頭蓋底の見方を理解する。 (孔と、それを通る神経・血管を覚え る。) | | / | 錦織 |
| 17 | | 運動器(骨格系) 頭蓋骨(顔面頭蓋①)の構成骨を覚 え、各頭蓋骨の骨部位、特徴を理解す る。 | | / | 錦織 |
| 18 | | 運動器(骨格系) 頭蓋骨(顔面頭蓋②)の構成骨を覚 え、各頭蓋骨の骨部位、特徴を理解す る。 定期試験アナウンス 骨格系復習(脊柱～下肢骨) | | / | 錦織 |
| 19 | | 骨学総復習 定期試験アナウンス | | / | 錦織 |
| 前期試験 | | | | | |
| 20 | | 定期試験(解答・解説) 運動器(筋系) 内寛骨筋の種類を覚え、各筋の起始・ 停止も覚える。 | | / | 錦織 |

| 回数 | 開講 予定日 | テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料 | 授業日誌 | 開講日 | 担当教員 (備考) |
|----|-----------|---|------|-----|--------------|
| 21 | | 運動器(筋系) 外寛骨筋①の種類を覚え、各筋の起 始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 22 | | 運動器(筋系) 外寛骨筋②の種類を覚え、各筋の起 始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 23 | | 運動器(筋系) 大腿の筋(伸筋群)の種類を覚え、各 筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 24 | | 運動器(筋系) 大腿の筋(内転筋群)の種類を覚え、 各筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 25 | | 運動器(筋系) 大腿の筋(屈筋群)の種類を覚え、各 筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 26 | | 運動器(筋系) 下腿の筋(伸筋群)の種類を覚え、各 筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 27 | | 運動器(筋系) 下腿の筋(屈筋群)の種類を覚え、各 筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 28 | | 運動器(筋系) 下腿の筋(腓骨筋群)の種類を覚え、 各筋の起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 29 | | 運動器(筋系) 足背・足底の筋の種類を覚え、各筋の 起始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |
| 30 | | 頭頸部の筋の種類を覚え、各筋の起 始・停止も覚える。 | | / | 錦織 |

| 回数 | 開講 予定日 | テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料 | 授業日誌 | 開講日 | 担当教員 (備考) |
|------|-----------|---|------|-----|--------------|
| 31 | | 体幹の筋に分布する神経を覚える。 (筋作用、分布する神経) 脊髄神経と胸神経の関係を理解する。 | | / | 錦織 |
| 32 | | 上肢の筋に分布する神経を覚える。 (筋作用、分布する神経①) 頸神経叢から分岐するもの。 | | / | 錦織 |
| 33 | | 上肢の筋に分布する神経を覚える。 (筋作用、分布する神経②) 腕神経叢から分岐するもの。 | | / | 錦織 |
| 34 | | 下肢の筋に分布する神経を覚える。 (筋作用、分布する神経①) 腰神経叢から分岐するもの。 | | / | 錦織 |
| 35 | | 下肢の筋に分布する神経を覚える。 (筋作用、分布する神経②) 仙骨神経叢から分岐するもの。 | | / | 錦織 |
| 36 | | 運動器の概説 細胞・組織の総復習 | | / | 錦織 |
| 37 | | 後期試験(授業内試験) | | / | 錦織 |
| 38 | | 定期試験(解答・解説) 運動器 総復習 | | / | 錦織 |
| 39 | | 運動器の概説 細胞及び組織 運動器を構成する組織① (種類・構造を覚える。) | | / | 錦織 |
| 後期試験 | | | | | |
| 40 | | 運動器の概説 細胞及び組織 運動器を構成する組織② (種類・構造を覚える。) | | / | 錦織 |